

皆さんの悩み、お聞きます

ケアラーの窓から Vol.25



何、なぜ、なんだろう？ 訪問介護の Q & A

Q1. 訪問介護と家政婦の違いは？

A1. 訪問介護は身体介護や利用者と一緒に家事を行うなど、自立した生活を送るためのサポートをします。一方で家政婦は家事のみの代行に限定されることが多く、本人ができることでも行う場合があります。

自宅での生活を支える

訪問介護（ホームヘルプ）

◆訪問介護をご存じですか？

訪問介護は、自宅で自立した日常生活を送れるよう介護保険により訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅に訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）をします。

Q2. 訪問介護員に必要な資格はありますか？

A2. 初任者研修（旧・ヘルパー2級）を受講した方や介護福祉士の資格が必要です。

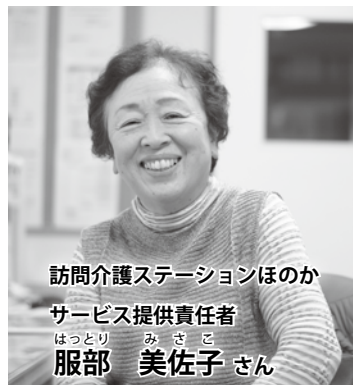
Q3. 家事であれば何でもしてくれますか？

A3. ケアプランによる支援を行います。同居親族がいる場合、家事での利用は原則できません。

町内の3事業所の

声

町内では3つの事業所が活躍しています。それぞれの特色を活かして、利用者さんの自立をサポートしている皆さんにお話を聞きました。



訪問介護ステーションほのか
サービス提供責任者
はつり みさこ
服部 美佐子 さん

利用者さんのお話し相手の存在としてコミュニケーションを大切にしています。訪問介護は、直接「ありがとう」という感謝の言葉を聞くことができるため

仕事のやりがいにも繋がっています。



ヘルパーステーション
プロケアすばる
管理者 たけだ
竹田 めぐみ さん

ヘルパーは訪問を通して、体調確認や声かけなどお手伝い以外にも自立した生活のサポートを担います。町民の皆さんに訪問介護を理解してもらい、利用者さんを気にかけてくれると嬉しいです。



訪問介護ステーションくらしさ栗山
課長代理 まつもと
松本 瞳 さん（左）
主任 ふじなが
藤永 良子 さん（右）

「明るく元気に前向きに」を心掛け、介護のプロ意識を持ち、利用者さんと向き合っています。「待ってたよ」と言ってもらえる家族のような存在として、自立に向けたサポートを続けていきます。

●各事業所では訪問介護員を募集しています

ヘルパーステーションプロケアすばる ☎ 73-3188
訪問介護ステーションくらしさ栗山 ☎ 73-6666

訪問介護ステーションほのか ☎ 72-0708

栗山学び隊 No.44

地域で輝く介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします

「広めたい」障がいに対する正しい理解

たこう りさ ちば かずき
竹生 梨紗 さん・千葉 一輝 さん

（北海道介護福祉学校2年）

町民との交流をきっかけに福祉への関心を広げる取り組みを行う「地域活動研究・地域問題解決グループ」として活動する二人。「障がいに対する偏見・差別を減らすことを目標に活動しています」と話す竹生さん。

角田小学校で行われたPTA行事に参加し、障がいの有無に関わらず競い合えるスポーツ「ボッチャ」を通して親子と交流したほか、オープンキャンパスの一環として栗山町身体障害者福祉協会と連携したハロウィンイベントを行いました。活動を通して千葉さんは「障がいを持つ方や保護者の声を聞くことができ、達成感や新たな学びを得るいい機会でした」と振り返りました。



竹生さん（左）と千葉さん（右）



10月に開催されたハロウィンイベント

テニス部再始動！強豪と戦えるチームへ

かせ ともや
加瀬 智也 さん（栗山高校2年）

昨年度まで、休部状態だったテニス部。現主将の加瀬さんが中心となり、今年度から4人で活動を再開しています。

「体を動かすことが好きで、小学生の時は軟式テニスをしていたこともありとても楽しく活動しています」と話します。

昨年8月に行われた空知管内の大会では、初出場にしてダブルスでベスト8という成績を残しています。活動

中は、仲間同士の声かけを大切にしており、分らないことを常に共有しているとのこと。部活以外にもテスト前には勉強会を開くなど、4人の仲の良さが垣間見えます。

最後に「主将として強豪と戦えるチームを作り、ダブルスベスト4、初出場を目指す団体はまず1勝を目指したい」と熱く意気込んでいました。

